

ヒューストン市の概要

姉妹都市提携 1972年（昭和47年）10月24日

1 市の概要

- (1) 人口 約230万人（2016年7月1日現在）
- (2) 市域面積 約1,500平方キロメートル
- (3) 公用語 英語
- (4) 概要

テキサス州南東部、メキシコ湾から運河で約80kmさかのぼったところに位置するテキサス州最大・全米第4位の人口を誇る大都市である。

市の歴史は、メキシコから独立してテキサス共和国が誕生した1836年に始まる。

市の名称は、独立戦争の英雄サミュエル・ヒューストン将軍に因む。

石油・天然ガスなどのエネルギー産業や合成ゴムをはじめとする石油化学産業、綿花・小麦などの農畜産加工業が盛んであり、また、最近はIT産業、医療サービス産業、航空宇宙産業等に多様化が進んでいる。

市内には、スペースシャトル計画のNASAジョンソン宇宙センターやMDアンダーソンがんセンターなど世界的に有名な機関がある。

また、貨物取扱高では米国第2位、大きさでは世界第10位を誇る国際港、ヒューストン港を擁している。

気候は亜熱帯性で、最高気温が摂氏32度を超える日が年間約100日もあり、冬は短く、寒さはさほど厳しくない。

2 姉妹都市提携のきっかけ

1972年（昭和47年）3月、日本貿易振興会の招きでヒューストン市長が来日した際、日本の都市との姉妹都市提携の話が持ち上がり、港・工業・農業など都市の性格が非常によく似ていることから千葉市が選ばれ、提携のはこびとなったもの。

千葉市とヒューストン市の主な交流経過

1972年（昭和47年）10月

姉妹都市調印のため、ヒューストン市からジャック・ウェルチ市長一行が千葉市を訪問。

1982年（昭和57年）11月

姉妹都市提携10周年を記念して、松井市長・飯高議長をはじめとする親善訪問団がヒューストン市を訪問し、春日灯籠を寄贈。

1983年（昭和58年）8月

千葉・ヒューストン青少年交流事業を開始。交互に中学生の派遣・受入を実施。

1992年（平成4年）10月

姉妹都市提携20周年を記念して、中橋助役・松戸議長をはじめとする公式訪問団及び市民親善訪問団がヒューストン市を訪問し、太陽電池時計を寄贈。

2002年（平成14年）7月

姉妹都市提携30周年を記念して、鶴岡市長・市原議長をはじめとする公式訪問団、文化使節団、市民親善訪問団がヒューストン市を訪問し、騎馬武者像のレプリカを寄贈、ヒューストン市からはNASAが宇宙から撮影した千葉市の写真を受贈した。

（省略）

2010年（平成22年）10月

熊谷市長をはじめとする経済交流公式訪問団がヒューストン市を訪問し、「千葉市とヒューストン市の姉妹都市提携における、経済発展分野の附属書」に署名。

2013年（平成25年）3月

エドワード・ゴンザレス市長代理／市議会議員を団長とする姉妹都市提携40周年記念ヒューストン市公式訪問団（13名）が千葉市を訪問。

2014年（平成26年）7月

ヒューストン市ボーイスカウト（11名）が千葉市を訪問。

2014年（平成26年）10月

アニス・パーカー市長をはじめとする公式訪問団（7名）及び市民訪問団（5名）が千葉市を訪問。千葉市議会の歓迎セレモニーで特別名誉市民証を贈呈し、友好関係確認書に署名。